

(令和元年10月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水 産 物 全 般	<p>10月の総入荷量は、大型の台風による天候不順により鮮魚の入荷量が減少したため、前年同月比で7%下回り、総取扱金額は水産物全般で需要の伸びがみられなかったことから、前年同月比で9%下回った。</p> <p>11月は、ぶりやさわら、あんこうなど、鍋の食材となる魚の入荷が増える。鍋は魚のうまみや栄養がスープに溶け、余すことなく食べることができるため、是非寒暖差が激しいこの時期に温まる鍋で味わっていただきたい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は4%上回った。</p> <p>品目別には、さんま、かつおの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。さけ、ぶりの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で7%上回り、単価は9%下回った。</p> <p>品目別には、冷えび、冷さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、加工水産物で需要の伸びがみられなかったことから11%下回った。</p> <p>品目別には、塩さけの入荷量は前年同月を上回ったが、単価は前年同月並みとなった。ちりめんの入荷量は前年同月を下回ったが、並品中心の入荷となったことから、単価は下回った。</p>

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	長崎，京都で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で30%下回り，単価は20%上回った。
ま い わ し	鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で46%下回り，単価は42%上回った。
さ ば	韓国，三重，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で19%下回ったが，単価は大型物のお荷が少なかったことから5%下回った。
す る め い か	新潟，鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で35%下回ったが，単価は大型物のお荷が少なかったことから10%下回った。
太 物	総入荷量は，前年同月並みであったが，単価は国産物のまぐろの好調な入荷により4%上回った。
よ こ わ	福岡，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で63%上回り，単価は30%下回った。
ひ ら め	韓国，宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で6%下回ったが，需要が低迷したことから単価は3%下回った。

※太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で7%上回ったが、単価は中型物主体の入荷であったことから前年同月並みとなった。
冷 する めい か	入荷量は前年同月比で50%下回り、単価は36%上回った。
(加工水産物)	
塩 さ ば	入荷量は前年同月比で11%下回ったが、単価は需要が低迷していることから前年同月並みとなった。
干 か れ い	入荷量は前年同月並みとなったが、単価は干水かれいの入荷増加による値下がりから7%下回った。